

東証第1部 証券コード4323

開催日：2019年12月11日



Finding the right solution, just for you

2020年3月期 第2四半期 決算説明会

日本システム技術株式会社
Japan System Techniques Co., Ltd.

目次

1. 業績ハイライト P - 0 3

2. JASTグループの概要 P - 0 6

3. JASTグループの特長 P - 0 8

4. 2020年3月期 第2四半期の業績分析 P - 1 7

5. 今後の計画・方針 P - 2 9

1. 業績ハイライト

1 - 1. 連結業績

	2018年3月期 2Q累計実績	2019年3月期 2Q累計実績	2020年3月期 2Q累計実績	前年比
売上高 (百万円)	6,984	8,024	8,610	107.3%
売上総利益 (百万円)	1,381 19.8%	1,705 21.2%	1,914 22.2%	112.3%
営業利益 (百万円)	93 1.3%	263 3.3%	190 2.2%	72.2%
経常利益 (百万円)	118 1.7%	280 3.5%	202 2.3%	72.1%
当期純利益 (百万円)	60 0.9%	175 2.2%	△ 552 -6.4%	—
一株当たり当期純利益 (円)	11.55	33.45	△ 104.18	—
総資産 (百万円)	10,306	13,116	12,278	93.6%
純資産 (百万円)	5,696	6,246	5,683	91.0%
自己資本比率 (%)	54.8	47.3	46.0	▲1.3
自己資本利益率 (%)	1.1	2.8	△ 9.8	—
従業員数 (人)	931	982	1,168	186

* %数値は各々の利益率及び前年対比を表します。

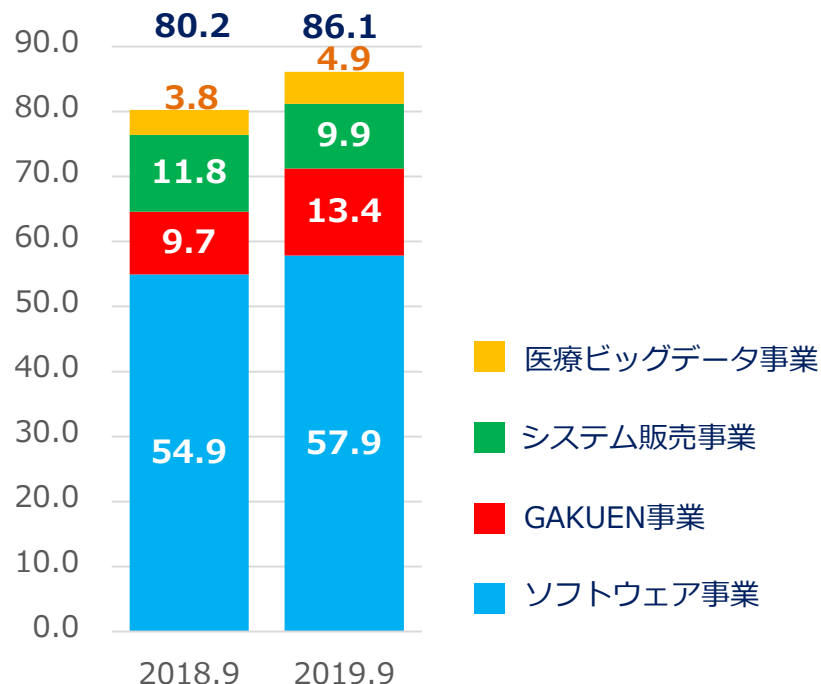
のれん・顧客関連資産の減損損失計上により当期純損失を計上。売上高・売上総利益は前年比で増収増益。営業利益・経常利益も活況であった前年比では下回るものの、対計画では堅調推移。

1. 業績ハイライト

1 - 2. 事業別ダイジェスト

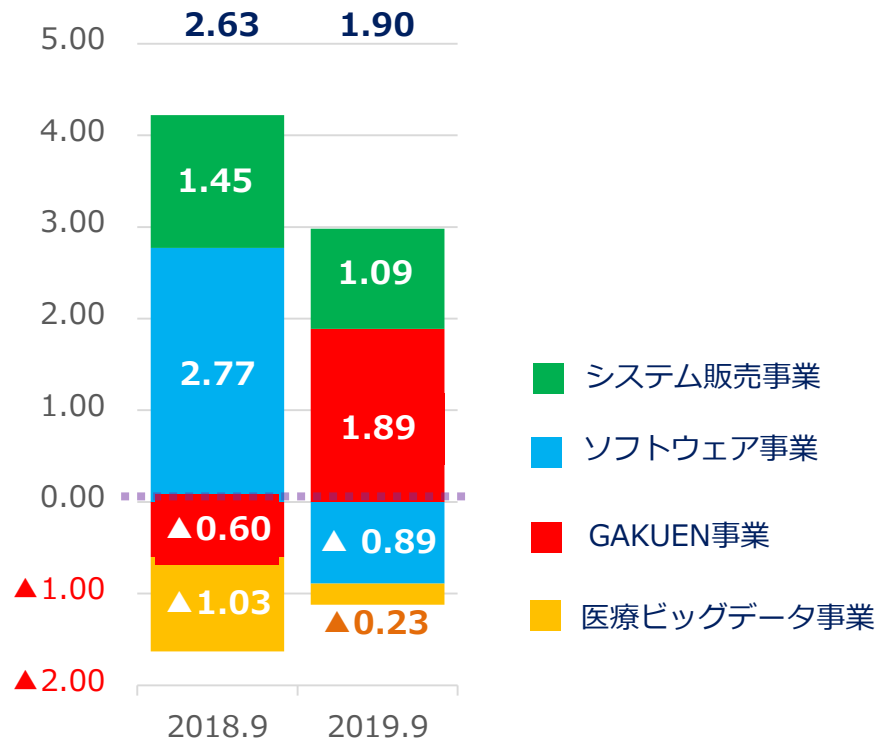
売上高

億円



営業利益

億円



- ◆ソフトウェア事業 : サービス・流通業/製造業/金融・保険・証券業向け案件等の好調により増収の一方、外注加工費等のコスト増により減益
- ◆GAKUEN事業 : 大学向けPP（プログラムプロダクト）販売、仕入販売/導入支援等の業績好調により増収収益
- ◆システム販売事業 : 大学及び公共系案件の前年度大幅増収による反動により減収減益
- ◆医療ビッグデータ事業 : レセプト自動点検サービス及び分析・医療費通知サービスの好調により増収

1. 業績ハイライト

1 – 3. 最近のトピックス

AG NET PTE. LTD. を子会社化（2019年5月）

- * AG NET PTE. LTD.（シンガポール）の株式を取得し、連結子会社化。
- * HRM(Human Resource Management)分野への新規参入により、ASEAN全域へのビジネス基盤のさらなる拡大を図る。

テラスカイ社との資本業務提携（2019年9月）

- * クラウドインテグレーションのリーディングカンパニーとの資本業務提携を開始。
- * BankNeoをはじめ、Salesforce.com、Amazon Web Serviceなど、両社のソリューション・得意分野を有効活用し、DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進を通じて、企業価値の更なる向上を図る。

のれん・顧客関連資産の減損損失計上（2019年9月）

- * 連結子会社Virtual Calibreグループの業績悪化により、同社関連ののれん等について、当第2四半期で減損損失（7.2億円）を計上。

ソフトウェア事業

- * 新製品(金融機関向け預り管理システム)「Cloud BankNeo 預り管理」のサービス開始（2019年4月）

医療ビッグデータ事業

- * 生活習慣改善支援装置に係る特許出願及びパイロット運用開始（2019年12月）

日本システム技術株式会社

Japan System Techniques Co., Ltd.

東証1部 略称JAST（ジャスト） 証券コード4323

設 立	1973年〔昭和48年〕3月
資本金	10億7,666万円〔2019年3月末現在〕
系 列	なし〔完全独立系〕
所在地	大阪本社〔本店〕 大阪市北区中之島2-3-18 中之島フェスティバルタワー28・29階
	東京本社 東京都港区港南二丁目16番2号 太陽生命品川ビル26・27階
代表者	代表取締役執行役員 平林 武昭

単位：百万円

2019年3月期の業績	連結	単体
売上高	16,868	13,796
営業利益	856	730
経常利益	870	779
当期純利益	317	330
従業員数（人）	1,111	712

各種資格

- ◆ プライバシーマーク認定
- ◆ ISO9001 登録事業者
- ◆ ISO14001 登録事業者
- ◆ ISO27001 登録事業者

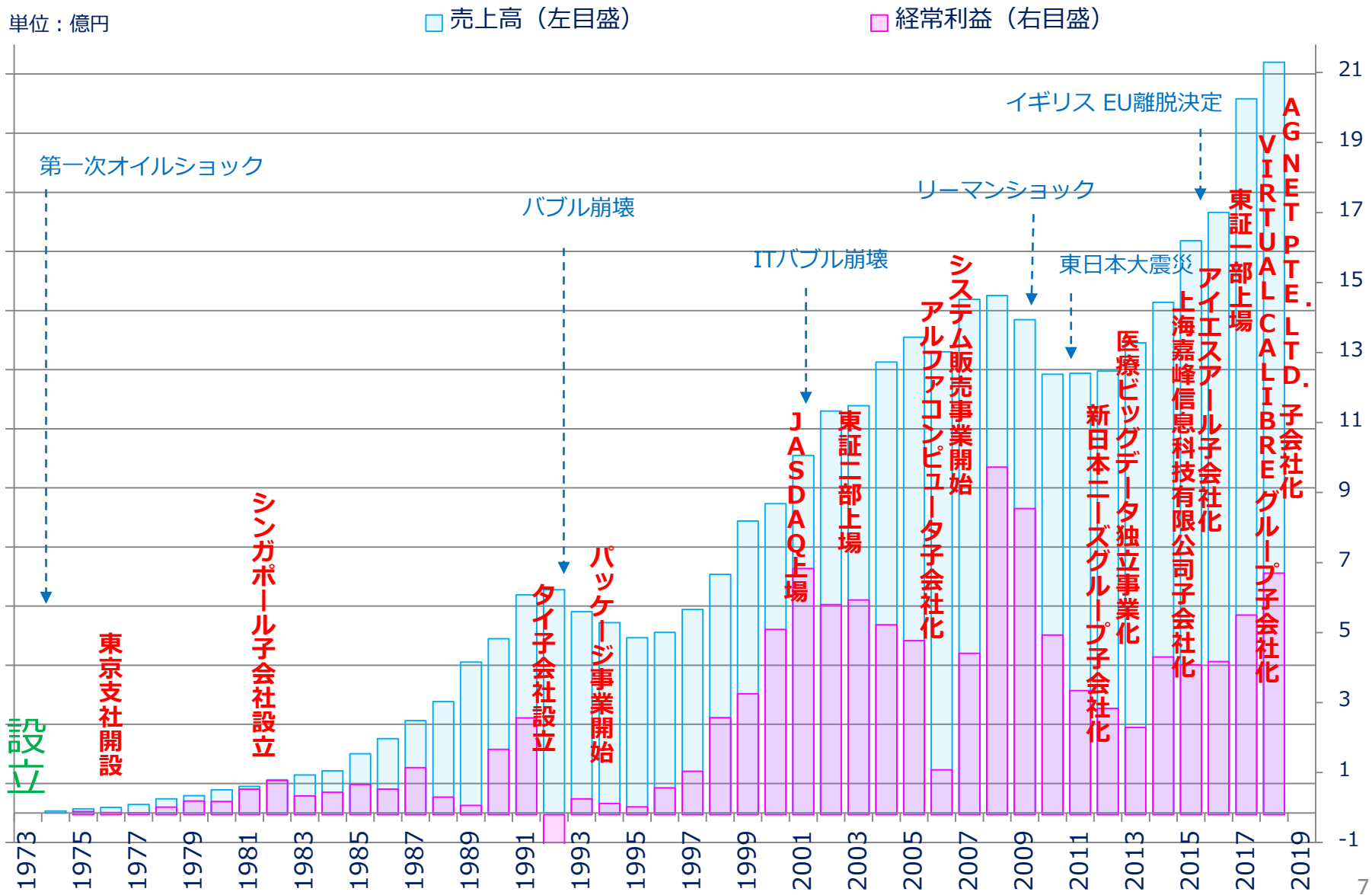


* 連結子会社12社〔東京・大阪・シンガポール・タイ・マレーシア・中国〕

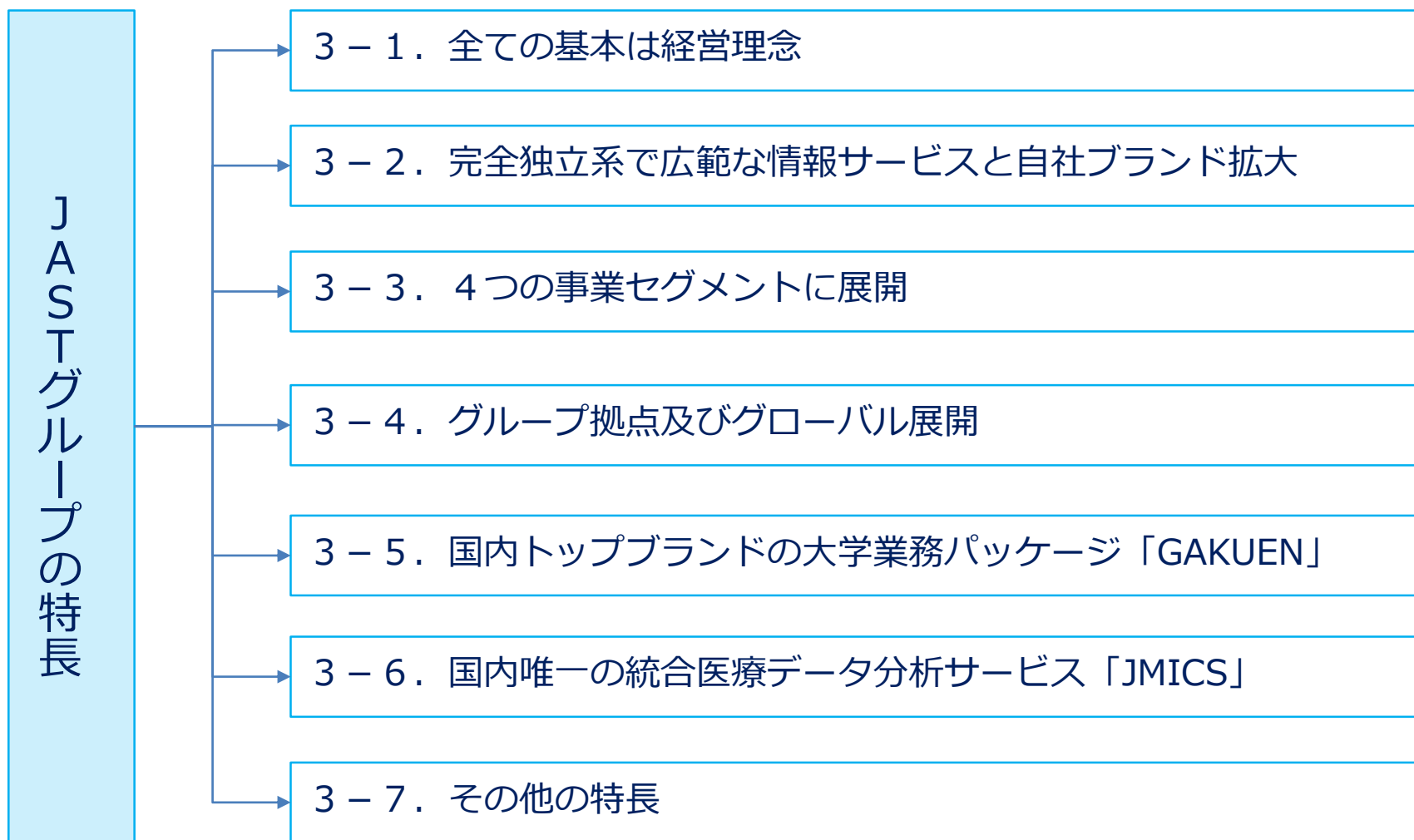
* 2019年9月末現在の従業員数（連結）1,168名

2. JASTグループの概要

2 - 2. 単体業績の推移



3. JASTグループの特長



「情報化の創造・提供による社会貢献」をモットーとして、いかなる企業系列にも属さない**完全独立系**の立場を堅持することにより、業種、技術分野、プラットフォーム等を問わず、常に最新の技術に挑戦しつつ、**自由な立場で幅広い分野の開発業務に取り組む**ことを経営の基本方針としております。

この基本方針に則り、**お客様、株主、社員、社会**がそれぞれwin-win（双方有益）の関係を築くべく、「**四方良し**」の理念を掲げ、それぞれの価値を最大化し、全体としての企業価値を高めることにより、**安定的成長を実現する**ことを目標としております。

また、こうした成長の原動力となるのは従業員ひとりひとりの情報システム開発に対する情熱と顧客への誠心誠意のサービスであり、そのためには人間力の研鑽が何よりも先行すべきである、との信念に基づいた「**人づくり**」**経営に徹する**こととしております。

～ 経営理念の基本的な考え方 ～

天爵を修めて人爵これに従う

「天爵」とは、人として不断に道義・原理原則を実行し、人格・品性・徳を高めていくことで、尊敬され信頼される品格を備えた人に自然的に与えられる位を意味し、「人爵」とは、業績や経験に基づき団体や上司から人為的・便宜的に与えられた外見上の位階を指しています。

天爵を修めることに努め、結果として自ずと人爵を与えられるのが理に適う順序立てであるのに、人は先に人爵を与えられるとあたかも自分は天爵も得たものと錯覚してしまい、それが態度や行動に出てしまうことが多い。これは本末転倒であるとの考えに基づき、一人ひとりがまず天爵を修めることを究極のテーマとして日々の生活を送ることを奨励しています。

メーカーや系列等一切の制約がなく、自由な立場で広範なサービスをご提供します

Sier
**ソフトウェア
事業**
ソフトウェアの
受託開発

・ **ビジネスアプリケーション**
各業界向けにシステムの提案から開発、運用、保守まで一貫したITサービス

・ **エンジニアリング
アプリケーション**

カーナビやAV機器組込みシステム、CAD、構造解析、自動車設計、交通管制など通信・制御システム

・ **その他自社ブランドサービス（ソフトウェア事業）**

金融機関向けパッケージソリューション

地銀、信金、信組様向けCRM/SFAシステム「BankNeo」

BankNeo

**JAST
ブランド**
パッケージメーカー
GAKUEN
事業
大学経営ソフトウェア
パッケージ開発・販売

大学経営システムのトップブランド「GAKUEN」シリーズを中核とした、文教ITのトータルソリューション

BtoB販社
**システム販売
事業**
マルチベンダー
ITインフラの構築

文教・公共系マルチベンダーのITインフラ構築を中核とする独自のサービス

**JAST
ブランド**
医療BI
**医療
ビッグデータ
事業**
医療情報データの点検
分析及び関連サービス

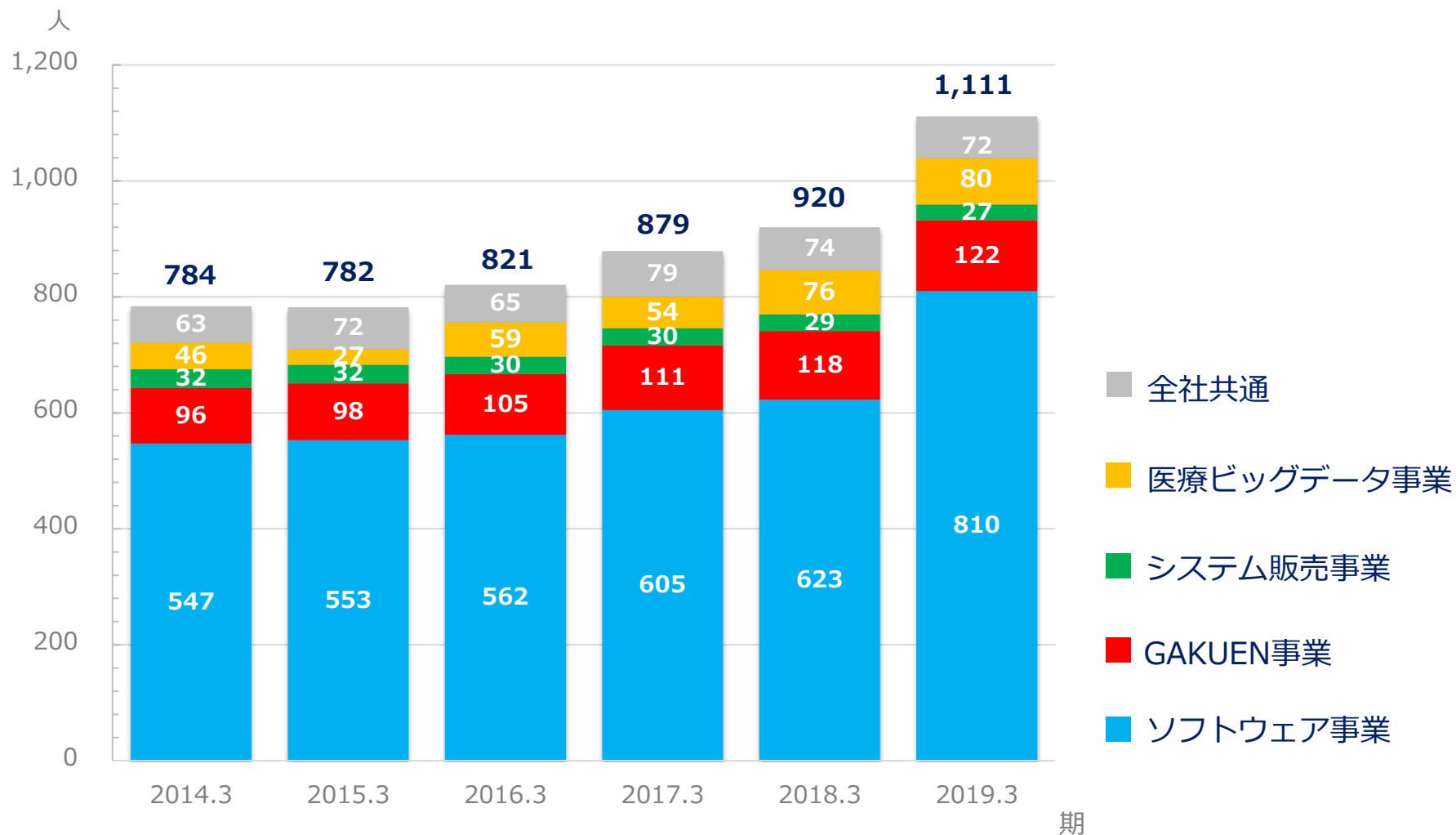
レセプト自動点検、データ活用、データヘルス計画、二次点検業者向けシステム提供など医療関連のビッグデータソリューション

スマートデバイス

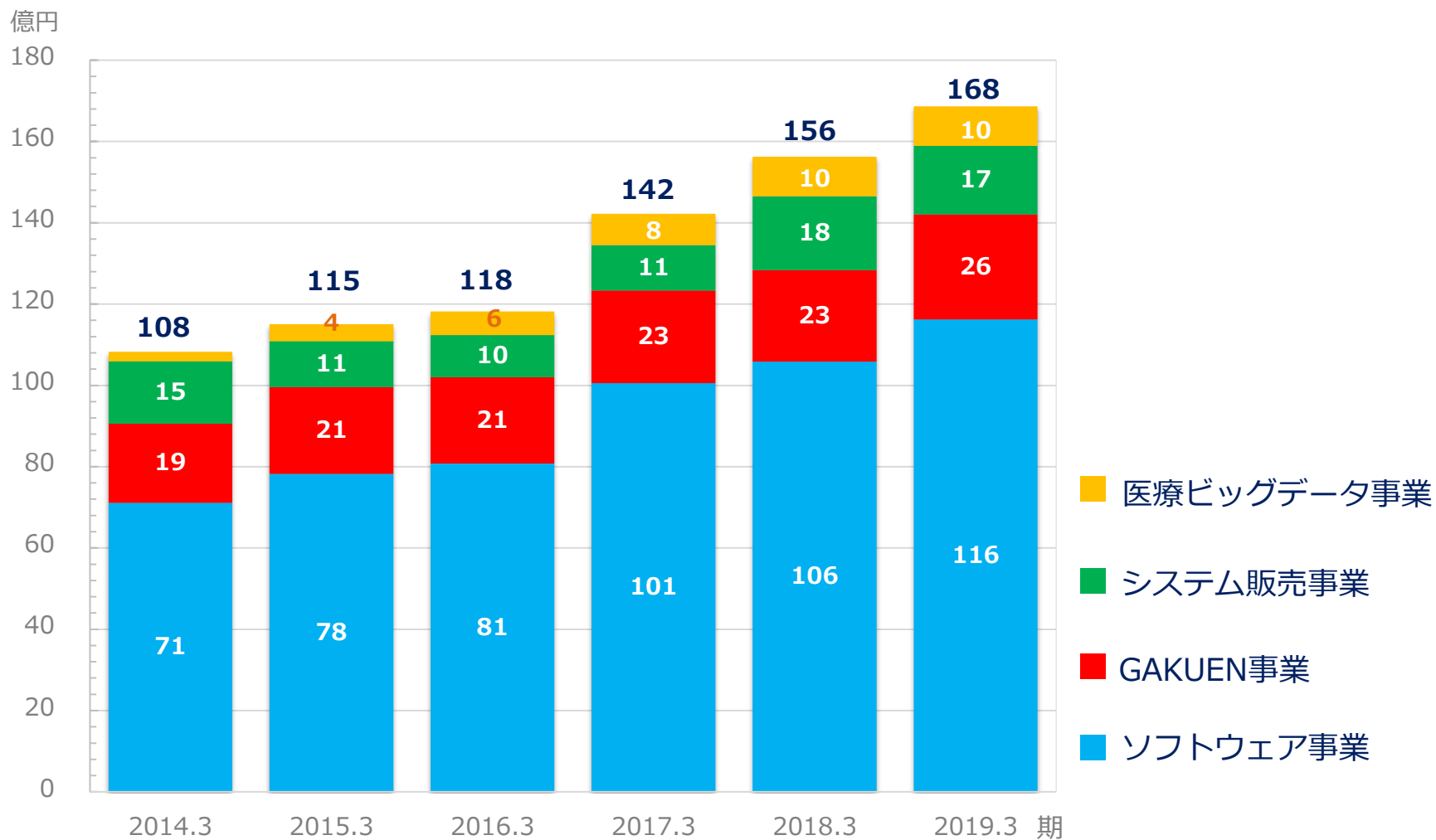
観光アプリ「京都禅寺巡り」他、スマホアプリ
ビジネス向け、スマートデバイスを活用したトータルソリューション



連結従業員数（期末）

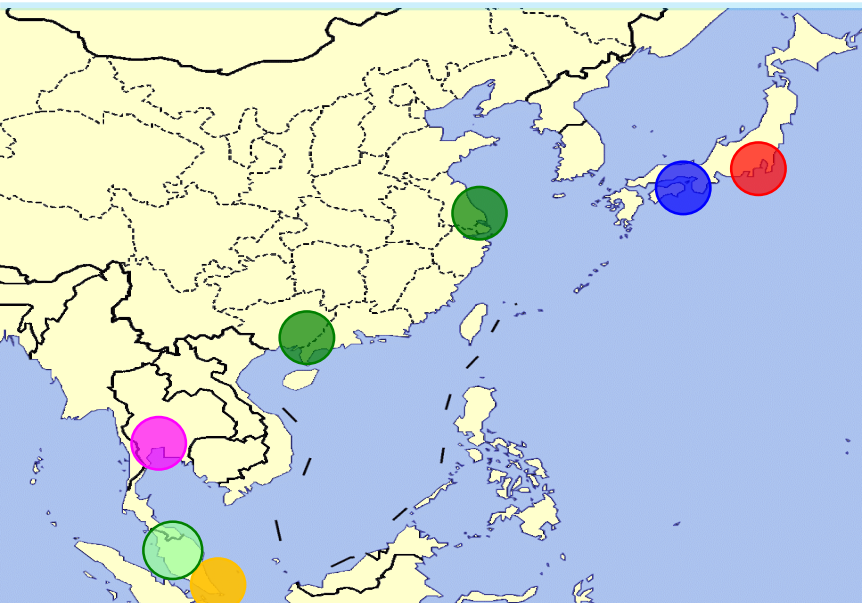


連結売上高



3. JASTグループの特長

3-4. グループ拠点及びグローバル展開



大阪本社

大阪市北区中之島二丁目3番18号 中之島フェスティバルタワー28・29階



東京本社

東京都港区港南二丁目16番2号 太陽生命品川ビル26・27階



アルファコンピュータ株式会社

東京都品川区 ★マルチベンダ I T インフラ設計 (システム販売)



株式会社アイエスアール

東京都品川区 ★受託開発、パッケージ開発・販売



株式会社新日本ニーズ

大阪市 ★地域密着型受託開発 (※2019.4.1 SafeNeeds(株)と合併)



Virtual Calibre グループ (3社)

マレーシア クアラルンプール近郊 ★SAP事業展開

JAST TECHNIQUES PTE. LTD.

シンガポール ★現地日系企業向け開発

AG NET PTE.LTD.

シンガポール ★HRMS事業展開

JASTEC(THAILAND) CO., LTD.

タイ バンコク ★現地日系企業向け開発

JAST ASIA PACIFIC CO., LTD.

タイ バンコク ★ASEAN地域でのJASTブランド展開

桂林安信軟件有限公司

中国広西チワン族自治区桂林市 ★オフショア開発拠点
★中国国内拡販拠点

上海嘉峰信息科技有限公司

中国上海市 ★GAKUEN
中国販売拠点

3. JASTグループの特長

3 - 5. 国内トップブランドの大学業務パッケージ「GAKUEN」

導入実績

大学：291校
短大：88校
他：18校
合計：397校

県立広島大学(公)
山口県立大学(公)
島根県立大学(公)
広島経済大学
近畿大学工学部
比治山大学
岡山理科大学
ノートルダム清心女子大学

大阪教育大学(国)
大阪市立大学(公)
兵庫県立大学(公)
京都府立大学(公)
近畿大学
甲南大学
佛教大学
阪南大学
桃山学院教育大学
大手前大学
神戸女学院大学
大阪芸術大学
大阪音楽大学
大阪医科大学
大阪薬科大学

岩手県立大学(公)
山形県立保健医療大学(公)
東北福祉大学
宮城学院女子大学
東北文化学園大学
東北芸術工科大学
日本大学工学部

福井大学(国)
新潟医療福祉大学
新潟薬科大学
北陸大学

北海道教育大学(国)
公立はこだて未来大学
酪農学園大学

東京理科大学
慶應義塾大学
東京電機大学
桜美林大学
日本大学薬学部
文教大学
玉川大学
日本女子大学
武蔵大学
日本体育大学
共立女子大学
ワリイ女学院大学
國學院大学
大妻女子大学
順天堂大学

導入実績397校

香川県立保健医療大学(公)
聖カトリナ大学

福岡工業大学
中村学園大学
熊本学園大学

近畿大学産業理工学部
九州国際大学
日本文理大学

三重大学(国)
愛知県立大学(公)
名城大学
名古屋外国語大学

愛知教育大学(国)
静岡県立大学(公)
愛知大学
東海学園大学

導入実績：2019年11月30日現在

JMICS JAST Medical Insurance Checking Service

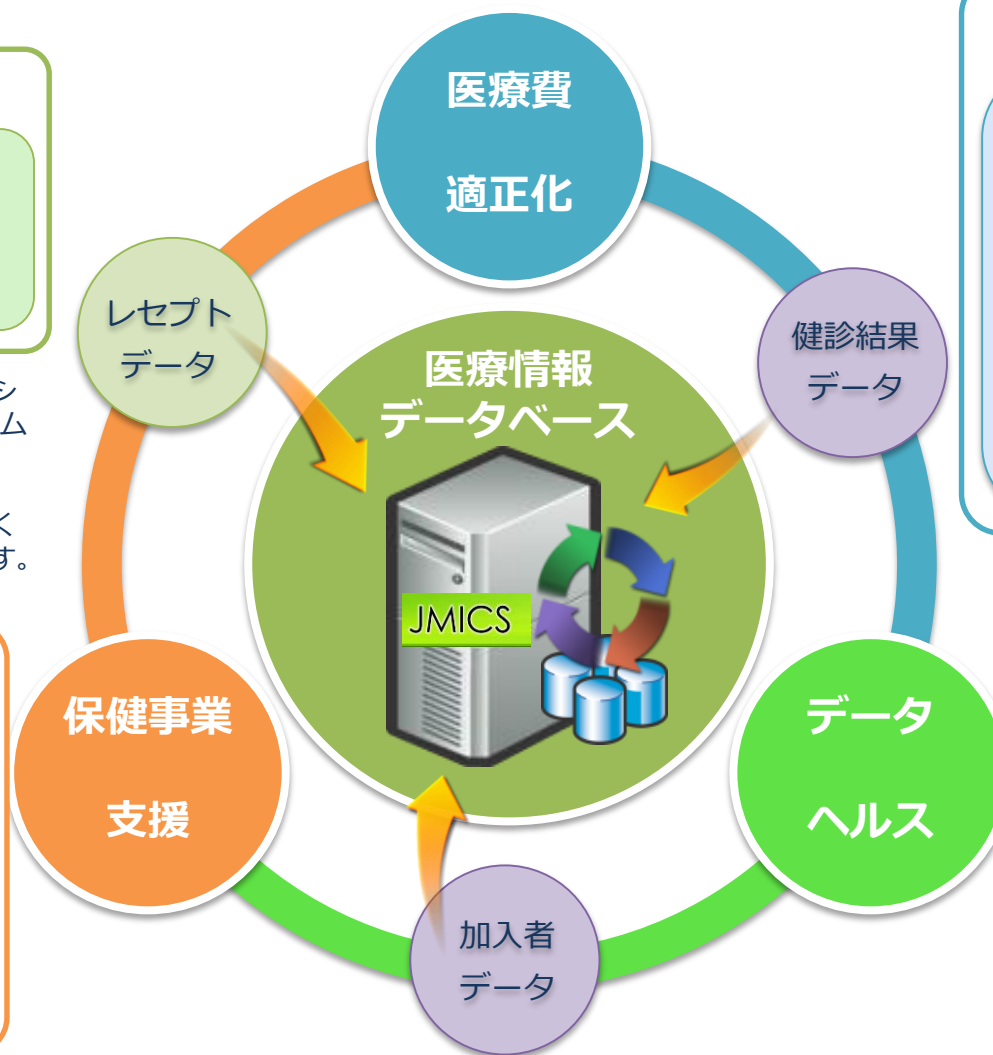
点検サービス

- ・レセプト内容点検
- ・アウトソーシング
- ・ユーザークラウド
- ・ビジネスクラウド
- ・海外療養費点検
- ・柔整点検

レセプト点検には、アウトソーシングの他に、JASTの点検システムを保険者様にてご利用いただく「ユーザークラウド」と、点検事業者様にてご利用いただく「ビジネスクラウド」があります。

医療費適正化サービス

- ・ジェネリック促進通知
- ・花粉症通知
- ・統合通知
- ・頻回、重複受診者対応
- ・第三者求償対象者対応
- ・時間外加算者対応
- ・医薬品重複投与者対応



保健事業支援サービス

- ・リスカルクン
(保険事業支援ツール)
- ・レセプト/健診データ分析
- ・ハイリスク者階層化分析
- ・保健事業の実施効果分析
- ・事業所別分析レポート
- ・健康白書
- ・加入者向け健康レポート
- ・受診勧奨通知
- ・保健師・管理栄養士による
各種保健指導、セミナー
健康教室の開催

保健事業支援ツールの提供、健康白書や事業所別分析レポート等の作成、医療費や健診データ分析、受診勧奨通知、保健師や管理栄養士による支援サービスなど、データヘルスにおけるPDCAサイクルを廻すための各種サービスの提供が可能です。

事務効率化サービス

- ・健診事務代行
- ・WEB検認
- ・各種事務代行

長期安定成長の実現

人物重視

- * 新卒中心の採用と長期的な人材育成
- * 人材流動の激しい業界内で高い社員定着率

品質安定
低コスト体質

特徴的な営業戦術

- * ソフトウェア事業（受託開発）：
 - ・ S E自らリピート案件発掘
 - ・ 新規顧客は専門営業がソリューション提案
- * その他事業：
 - ・ 代理店、教育機関、官公庁、健保組合等
 - 異種カスタマ層へのマーケティング展開

性格の異なる4事業の
共存共栄に成功

品質・信頼へのこだわり

- * 「一括丸投げ」は行わない、社員中心のプロジェクト編成
- * 請負った案件は満足頂くまでやり抜く、途中退場はしない

高いリピートオーダー率
大手顧客との長期取引

徹底したコスト管理

- * 間接部門を含む全活動をプロジェクト化し原価管理
- * コンパクトな本社間接部門

問題の早期発見による
不採算案件の最小化、
低コスト体質

4. 2020年3月期 第2四半期の業績分析

4－1. 連結業績の推移

4－5. 研究開発費

4－2. 事業セグメント別業績

4－6. キャッシュフローの推移

4－3. カテゴリ別業績

4－7. 株価の推移と流動施策

4－4. 貸借対照表の推移

4－8. 日経平均株価との相関

4. 2020年3月期 第2四半期の業績分析

4 - 1. 連結業績の推移

単位：百万円

	2018年3月			2019年3月			2020年3月			前年比		
	上期	下期		上期	下期		上期	下期	通期 予想	上期	下期	
売上高	6,984	8,646	15,630	8,024	8,844	16,868	8,610		18,000	107.3%		106.7%
売上原価	5,602	6,682	12,284	6,319	6,709	13,028	6,696			106.0%		
	80.2%	77.3%	78.6%	78.8%	75.9%	77.2%	77.8%					
売上総利益	1,381	1,964	3,345	1,705	2,135	3,840	1,914			112.3%		
	19.8%	22.7%	21.4%	21.2%	24.1%	22.8%	22.2%					
販売費及び一般管理費	1,288	1,315	2,603	1,442	1,542	2,984	1,723			119.5%		
	18.4%	15.2%	16.7%	18.0%	17.4%	17.7%	20.0%					
研究開発費	196	262	458	231	261	492	173			74.9%		
営業利益	93	648	741	263	593	856	190		925	72.2%		108.1%
	1.3%	7.5%	4.7%	3.3%	6.7%	5.1%	2.2%		5.1%			
経常利益	118	667	785	280	590	870	202		950	72.1%		109.2%
	1.7%	7.7%	5.0%	3.5%	6.7%	5.2%	2.3%		5.3%			
当期純利益	60	519	579	175	142	317	△ 552		15	－		4.7%
	0.9%	6.0%	3.7%	2.2%	1.6%	1.9%	－		0.1%	－		
包括利益	－	－	637	－	－	238	－			－		

利益が下期に集中する傾向にあり、特に第4四半期（末）の業績貢献度が高い

4. 2020年3月期 第2四半期の業績分析

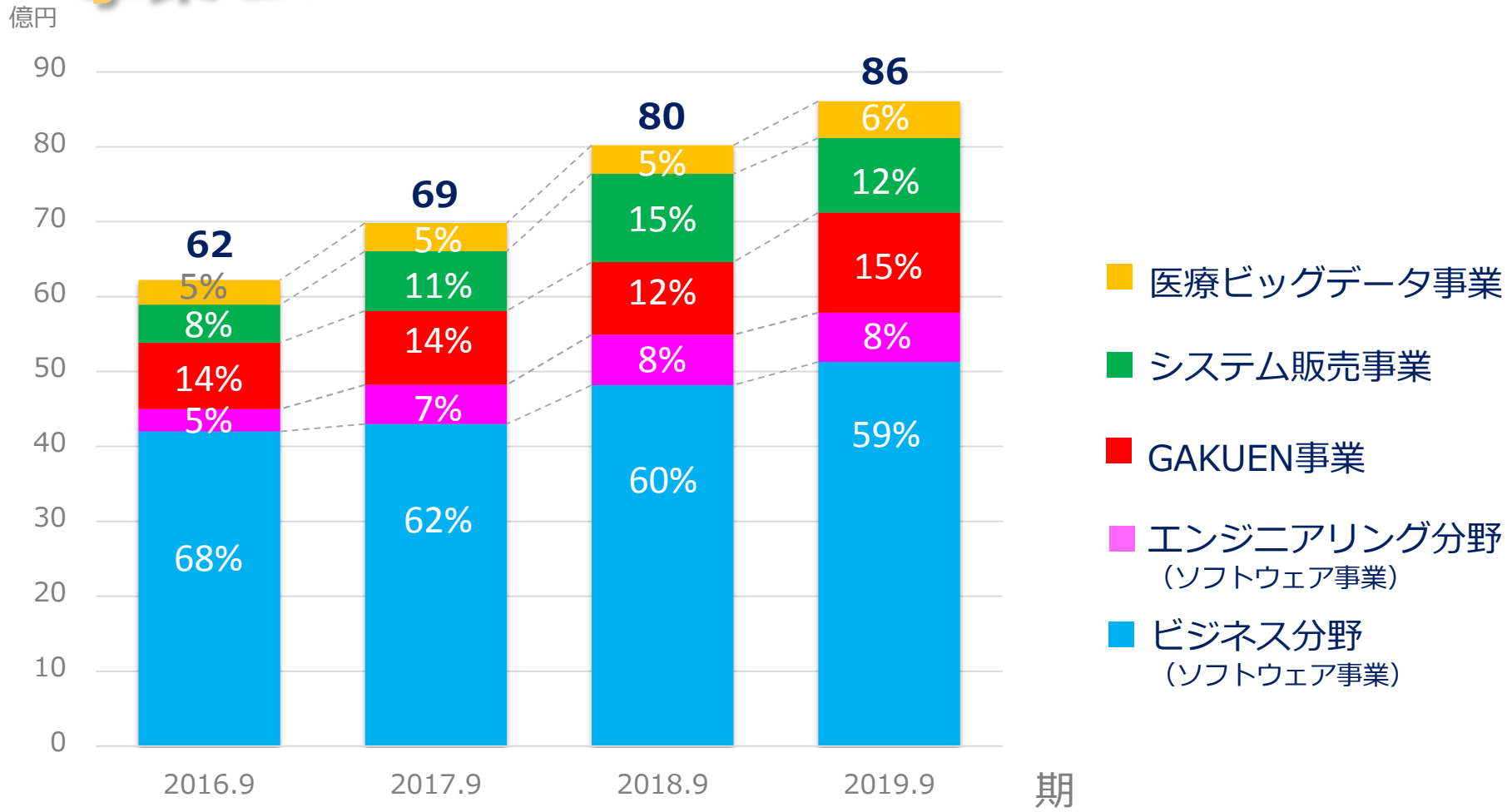
4-2. 事業セグメント別業績

単位：百万円

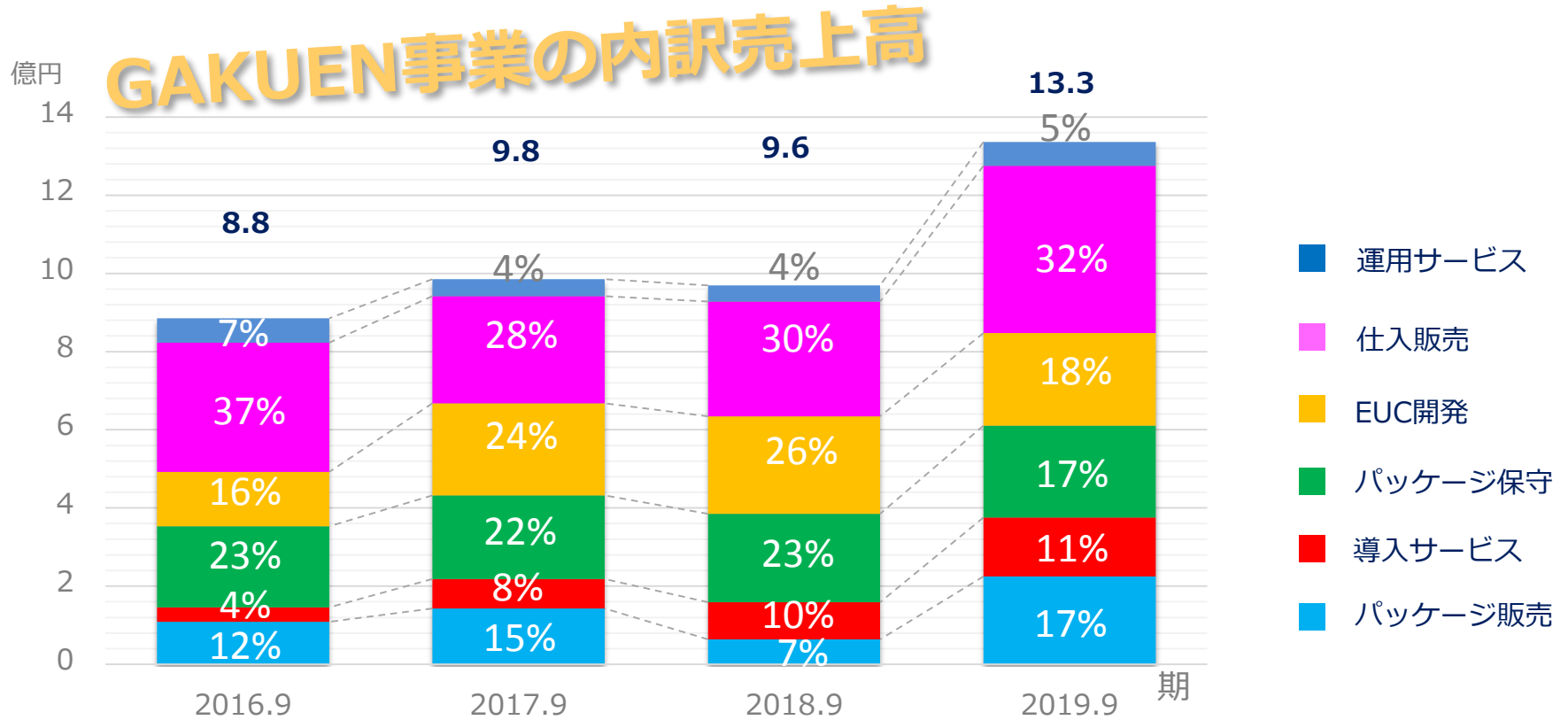
		2018年3月期 2Q累計実績	2019年3月期 2Q累計実績	2020年3月期 2Q累計実績	前年比		
					差額	比率	
		構成	構成	構成			
JASTグループ		売上高	6,984	8,024	8,610	586	107.3%
		営業利益	93	263	190	▲73	72.2%
	ソフトウェア事業	売上高	4,823 69.1%	5,492 68.4%	5,786 67.2%	294	105.4%
		営業利益	73	277	▲89	▲366	—
	GAKUEN事業	売上高	988 14.1%	969 12.1%	1,337 15.5%	368	138.0%
		営業利益	62	▲60	189	249	—
	システム販売事業	売上高	795 11.4%	1,180 14.7%	994 11.5%	▲186	84.2%
		営業利益	▲9	145	109	▲36	75.2%
	医療ビッグデータ事業	売上高	376 5.4%	382 4.8%	492 5.7%	110	128.8%
		営業利益	▲36	▲103	▲23	80	—

- ◆ソフトウェア事業 : サービス・流通業/製造業/金融・保険・証券業向け案件等の好調により増収の一方、外注加工費等のコスト増により減益
- ◆GAKUEN事業 : 大学向けPP（プログラムプロダクト）販売、仕入販売/導入支援等の業績好調により増収収益
- ◆システム販売事業 : 大学及び公共系案件の前年度大幅増収による反動により減収減益
- ◆医療ビッグデータ事業 : レセプト自動点検サービス及び分析・医療費通知サービスの好調により増収

事業セグメント別・分野別売上高



* グラフ内の数値 (%) は連結売上高に対する構成比



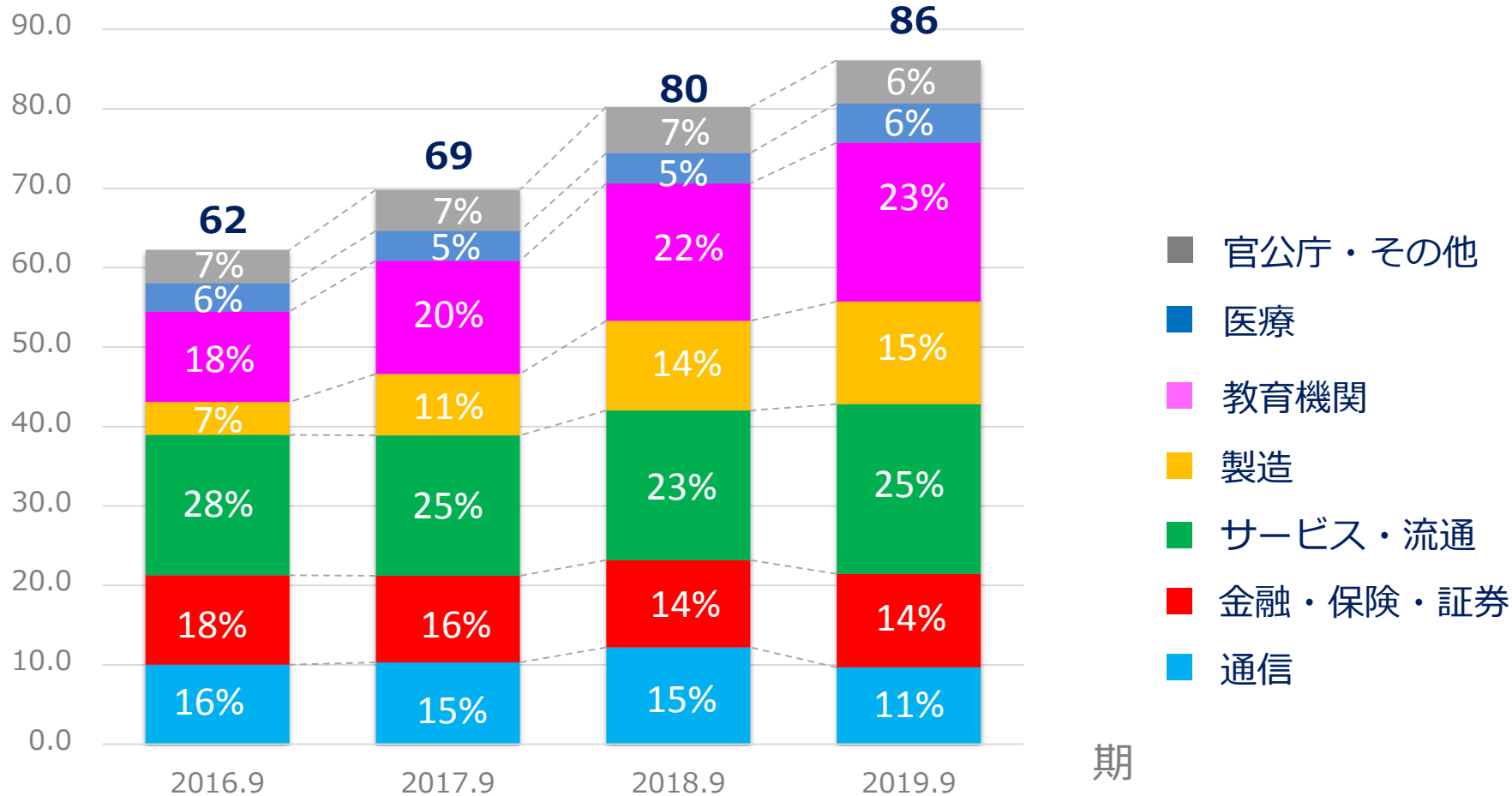
* グラフ内の数値 (%) は連結売上高に対する構成比

パッケージ販売	学校経営統合パッケージの販売収益
導入サービス	パッケージの導入支援サービス収益
パッケージ保守	パッケージの保守契約収益
EUC開発	パッケージ販売に伴う関連システムの個別受託開発の収益
仕入販売	ハードウェア及び他社商品の仕入販売収益
運用サービス	システムの運用支援に関する収益

エンドユーザー業種別売上高

連結売上高

億円

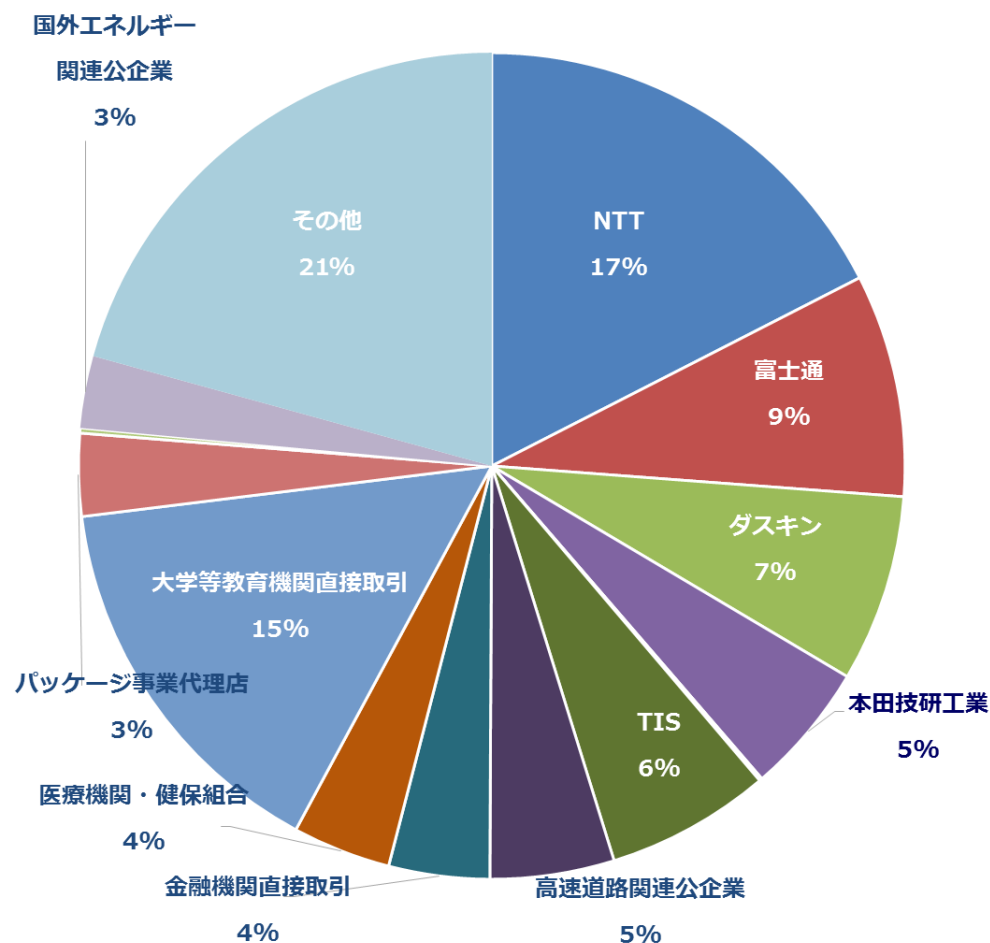


* グラフ内の数値 (%) は連結売上高に対する構成比

顧客グループ別売上高

顧客	2018.9	2019.9
NTT (25年)	20.9%	17.5%
富士通 (43年)	10.6%	8.7%
ダスキン (31年)	10.3%	7.3%
本田技研工業 (36年)	5.1%	5.2%
IHI (38年)	0.0%	0.0%
パナソニック (38年)	0.1%	0.1%
上位6社	46.8%	38.8%
TIS	9.2%	6.4%
高速道路関連公企業	3.4%	4.9%
金融機関直接取引	2.9%	3.9%
医療機関・健保組合	3.5%	3.8%
大学等教育機関直接取引	15.6%	15.2%
パッケージ事業代理店	3.0%	3.2%
システム販売事業その他公企業	0.3%	0.2%
国外エネルギー関連公企業	0.0%	2.8%
その他	15.3%	20.7%
合計	100%	100%

(〇〇年) は取引年数を示す。



4. 2020年3月期 第2四半期の業績分析

4-4. 貸借対照表の推移

単位：百万円

	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2019年 9月期	前期末比	
					差額	比率
資産	10,281	12,308	13,520	12,278	▲1,242	90.8%
流動資産	7,480	9,440	9,610	8,648	▲962	90.0%
有形固定資産	599	523	558	590	32	105.7%
無形固定資産	158	124	1,064	798	▲266	75.0%
投資その他の資産	2,043	2,220	2,288	2,241	▲47	98.0%
負債純資産合計	10,281	12,308	13,520	12,278	▲1,242	90.8%
負債	4,540	6,062	7,102	6,594	▲508	92.8%
流動負債	3,078	4,564	5,588	5,034	▲554	90.1%
固定負債	1,461	1,498	1,514	1,560	46	103.0%
純資産	5,741	6,246	6,418	5,683	▲735	88.5%
株主資本	5,544	5,992	6,244	5,543	▲701	88.8%
資本金	1,076	1,076	1,077	1,076	▲1	99.9%
資本剰余金	994	994	1,086	1,085	▲1	99.9%
利益剰余金	3,740	4,188	4,359	3,656	▲703	83.9%
自己株式	▲266	▲266	▲277	▲274	3	98.9%
その他の包括利益累計額	147	207	137	109	▲28	79.6%
新株予約権	—	—	—	—	—	—
非支配株主持分	48	45	37	29	▲8	78.4%

単位：百万円

	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	前年比	
					差額	比率
研究開発費の合計	346	332	458	492	34	107%
ソフトウェア事業	54	0	64	54	▲10	84%
GAKUEN事業	239	286	274	332	58	121%
医療ビッグデータ事業	52	45	98	65	▲33	66%
その他	0	0	20	39	19	195%

BankNeo
次世代製品の開発

GAKUEN
次世代製品の開発

点検性能向上
及び
サービス拡大

新ビジネスの
調査及び研究

2020年3月期2Q累計 研究開発費（実績） 173百万円

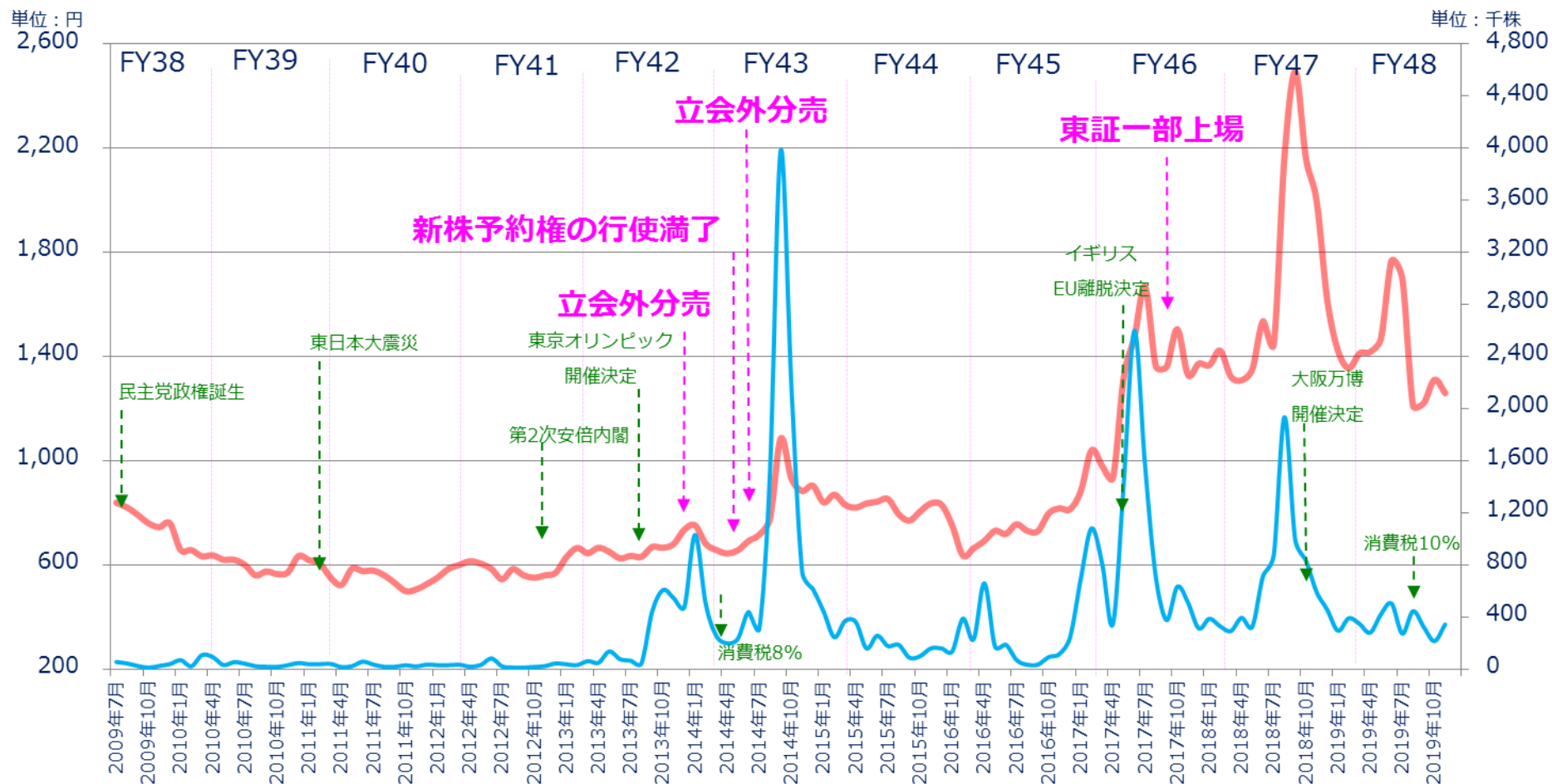
2019年3月期2Q累計 研究開発費（実績） 231百万円

単位：百万円

	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2019年 9月期	2019年 3月期比 増減
営業キャッシュ・フロー	▲204	▲12	132	642	1,342	289	▲1,053
投資キャッシュ・フロー	▲281	119	494	147	▲1,063	▲457	+606
財務キャッシュ・フロー	▲102	▲216	▲122	38	1,157	86	▲1,071
現金及び現金同等物の期末残高	1,559	1,447	1,951	2,785	4,204	4,108	▲96

— JAST株価(左目盛)

— JAST出来高(右目盛)



4-8. 日経平均株価との相関

単位：円

単位：円

32,000

28,000

24,000

20,000

16,000

12,000

8,000

2,800

2,400

2,000

1,600

1,200

800

400

FY39 FY40 FY41 FY42 FY43 FY44 FY45 FY46 FY47 FY48

東日本大震災

東京オリンピック開催決定

消費税8%

イギリスEU離脱決定

大阪万博開催決定

消費税10%

2010年1月 2010年4月 2010年7月 2010年10月 2011年1月 2011年4月 2011年7月 2011年10月 2012年1月 2012年4月 2012年7月 2012年10月 2013年1月 2013年4月 2013年7月 2013年10月 2014年1月 2014年4月 2014年7月 2014年10月 2015年1月 2015年4月 2015年7月 2015年10月 2016年1月 2016年4月 2016年7月 2016年10月 2017年1月 2017年4月 2017年7月 2017年10月 2018年1月 2018年4月 2018年7月 2018年10月 2019年1月 2019年4月 2019年7月 2019年10月

株価	1,270円	E P S	2.83	P B R	1.19倍	P E R	448.76倍
----	--------	-------	------	-------	-------	-------	---------

2019年12月4日終値

※2020年3月期通期予想値

5. 今後の計画・方針

5－1. 2020年3月期スローガン

5－8. GAKUEN

5－2. 業績の予想

5－9. J M I C S

5－3. 業績達成のフィジビリティ分析

5－10. BankNeo

5－4. 受注残高と売上高の推移

5－11. ASEAN商材展開

5－5. 研究開発投資計画

5－12. グループ成長戦略、グローバル化

5－6. 資本関連方針

5－13. 新領域への適応とアライнс
ターゲット

5－7. 事業ポートフォリオの中長期構想

Vision Venture Value Velocity ～4つのVで結果を勝ち取ろう～

Japan System Techniques Co., Ltd.

		2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	前年比
売上高	(百万円)	15,630	16,868	18,000	106.7%
営業利益	(百万円)	741 4.7%	856 5.1%	925 5.1%	108.1%
経常利益	(百万円)	785 5.0%	870 5.2%	950 5.3%	109.2%
当期純利益	(百万円)	579 3.7%	317 1.9%	15 0.1%	4.7%
一株当たり当期純利益	(円)	110.36	60.58	2.83	4.7%

* 全額の右の%数値は各々の利益率を表します。

5. 今後の計画・方針

5-3. 業績達成のフィジビリティ分析

単位：百万円

	2018年3月期 下期実績	2019年3月期 下期実績	2020年3月期 (通期予想-2Q累計)	前年比	
				金額	比率
売上高	8,645	8,844	9,389	+545	+6%
営業利益	648 7.5%	593 6.7%	734 7.8%	+141	+24%
経常利益	666 7.7%	590 6.7%	747 8.0%	+157	+27%
当期純利益	518 6.0%	142 1.6%	567 6.0%	+425	+299%

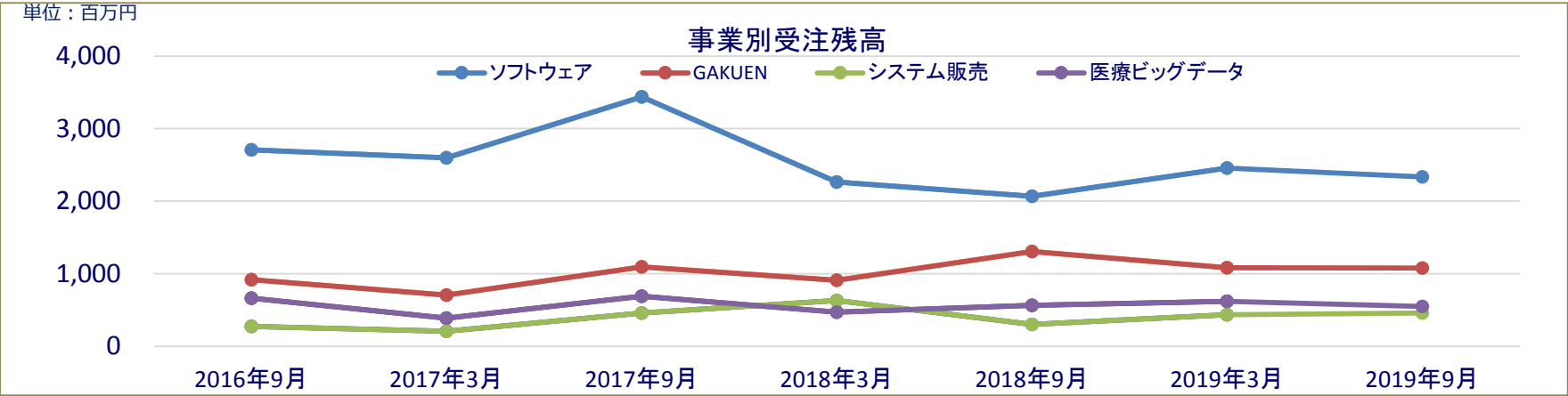
%数値は対売上高比率



項目	金額〔億円〕
〔A〕ソフトウェア事業の拡大と収益性向上	約 +2.6
〔B〕GAKUEN事業の増益	約 +1.7
〔C〕その他販管費等	約 ▲2.9

5. 今後の計画・方針

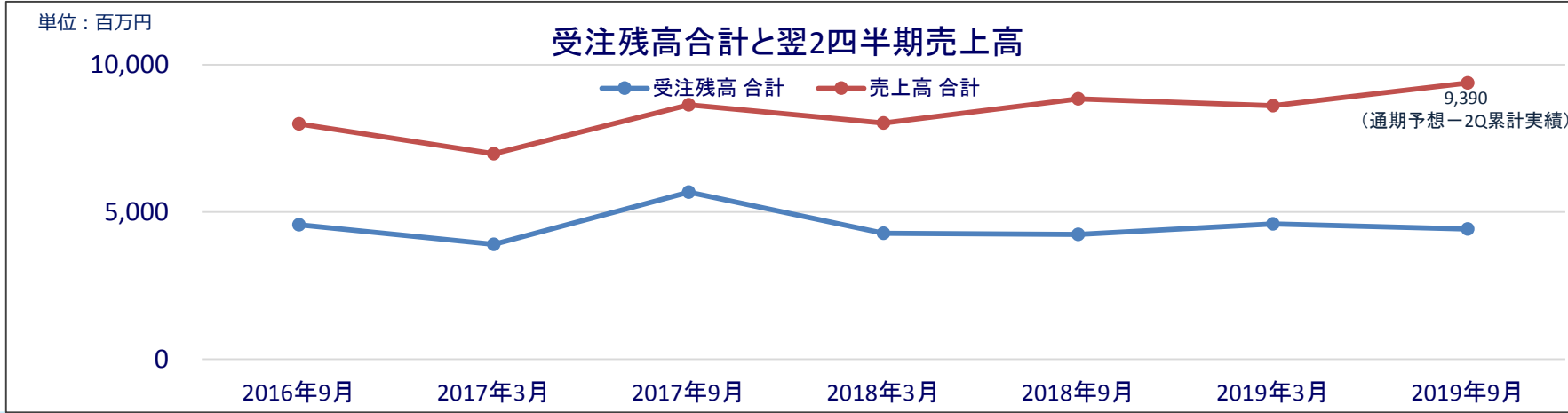
5 - 4. 受注残高と売上高の推移



事業別受注残高

単位：百万円

事業/期	2016年9月	2017年3月	2017年9月	2018年3月	2018年9月	2019年3月	2019年9月
ソフトウェア	2,709	2,599	3,437	2,264	2,066	2,455	2,336
GAKUEN	917	705	1,095	909	1,307	1,084	1,079
システム販売	275	208	458	630	301	435	457
医療ビッグデータ	661	386	688	468	563	619	549
受注残高 合計	4,563	3,899	5,680	4,271	4,239	4,595	4,423



研究開発投資の積極拡大を増収効果と収益性拡大で克服し増益実現

単位：百万円

	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期
研究開発費の合計	346	332	458	492	
ソフトウェア事業	54	0	64	54	
GAKUEN事業	239	286	274	332	
医療ビッグデータ事業	52	45	98	65	
その他	0	0	20	39	

BankNeo
次世代製品、
機能強化

GAKUEN
新製品・サービス

JMICS
性能強化・向上、
サービス拡大

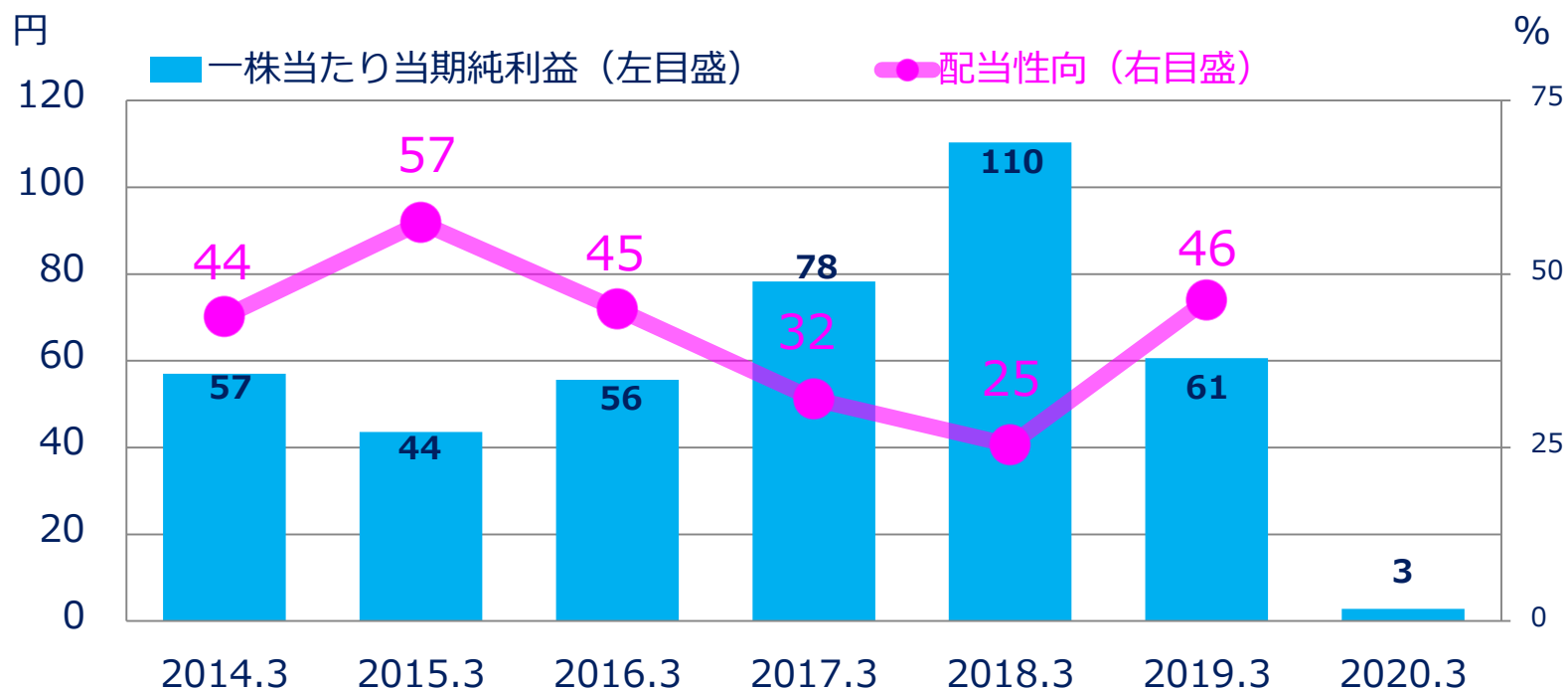
新規事業・技術
新事業・先端技術の
開発・研究

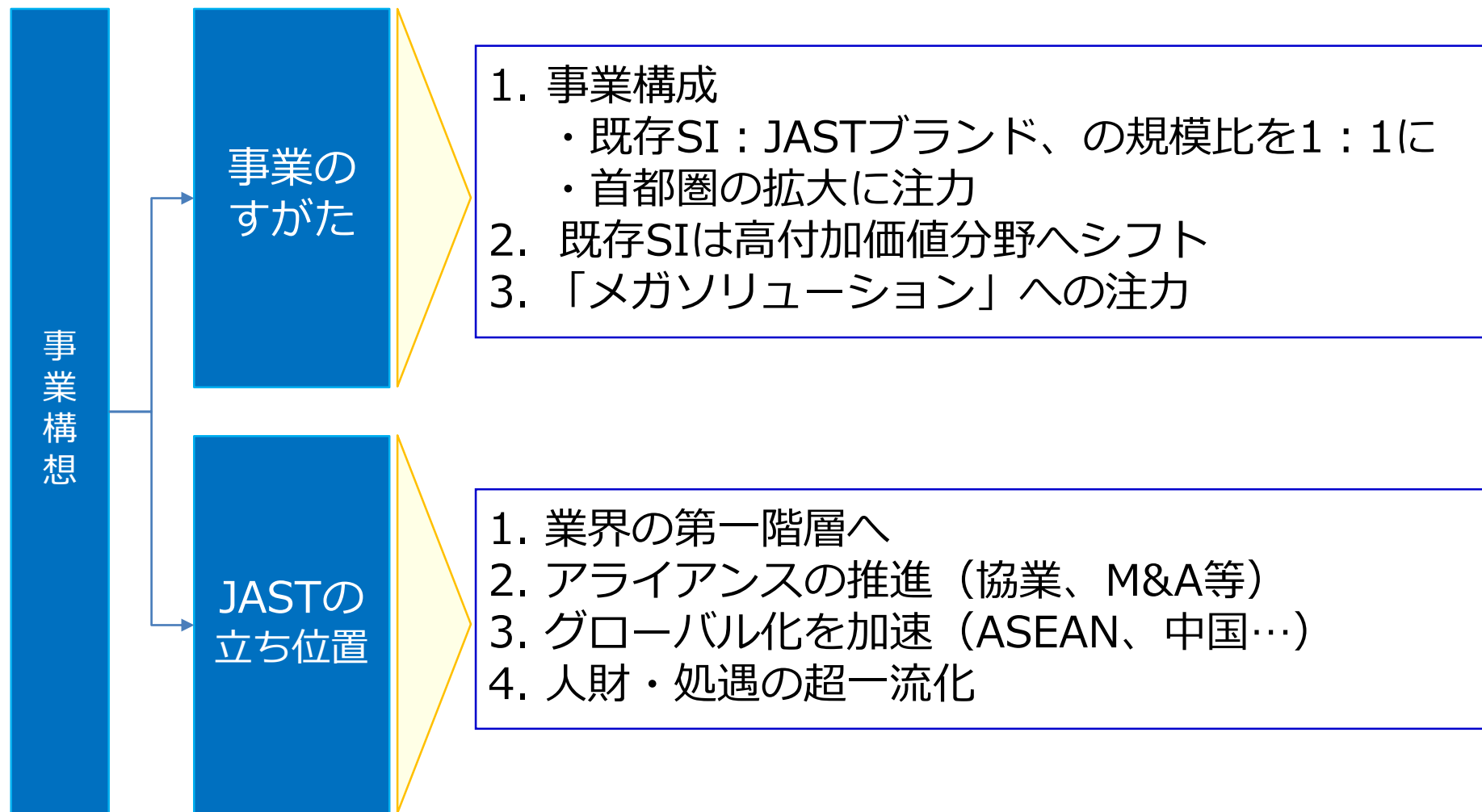
矢印の角度は増加率イメージ

5. 今後の計画・方針

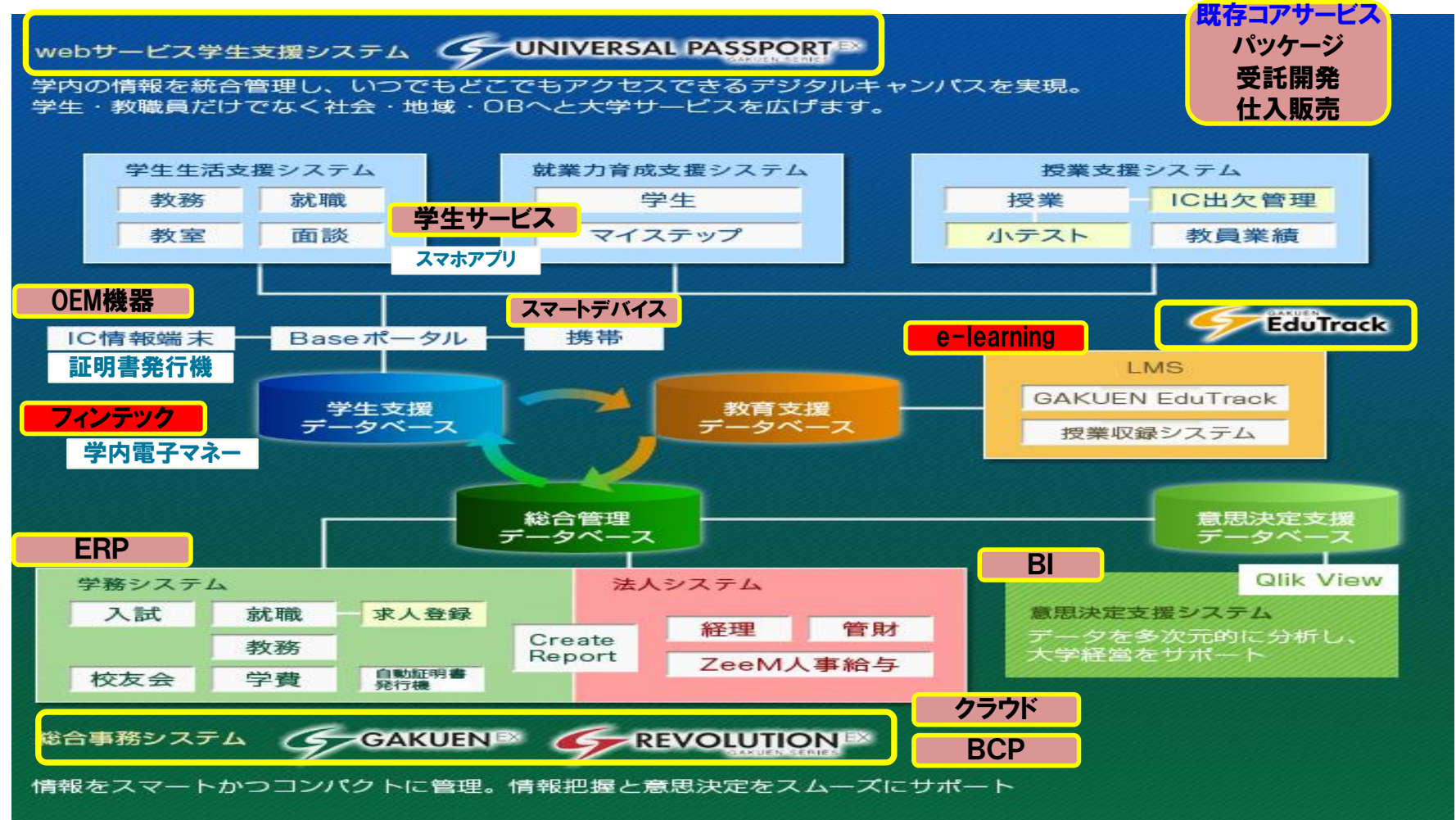
5－6. 資本関連方針

		2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期 (予定)
1株配当金	円	25	28	28	28
期末配当利回り	%	2.6	2.1	2.0	—
期末株主数	人	2,667	2,584	2,586	—
期末時価総額	百万円	5,500	7,425	7,924	—





★現行サービス図



★成長戦略

- ★最新世代RX製品の追加コンポーネントリリース
- ★研究開発、アライアンス→新サービス、の流れの活発化
- ★グローバル展開：中国版収益化、自社製OEM機器

➡ 常に先を行く戦術展開で
文教ITの圧倒的リーダーとなる

5. 今後の計画・方針

5 - 8. GAKUEN②（新製品のコンセプト）



Webポータルシステムが新しく生まれ変わりました

UNIVERSAL PASSPORT RX

Webポータルシステムの最高峰、学生支援から教育支援へ進化

LMS 学修支援システム

PLATFORM 総合事務 システム
Web サービス学生支援システム

IR 意思決定支援システム



◆ Webポータルシステム

多彩な学生サービス／教務サービス機能／ポートフォリオ／授業開始等プッシュ通知

◆ LMS

アクティブラーニング／スマートフォンやタブレットを活用したeラーニング／遠隔授業・授業収録・授業のWeb配信

◆ 電子マネー（UNIPA Pay）

学内電子マネーで決済やポイントサービスを実現

◆ IRソリューション（BIツール）

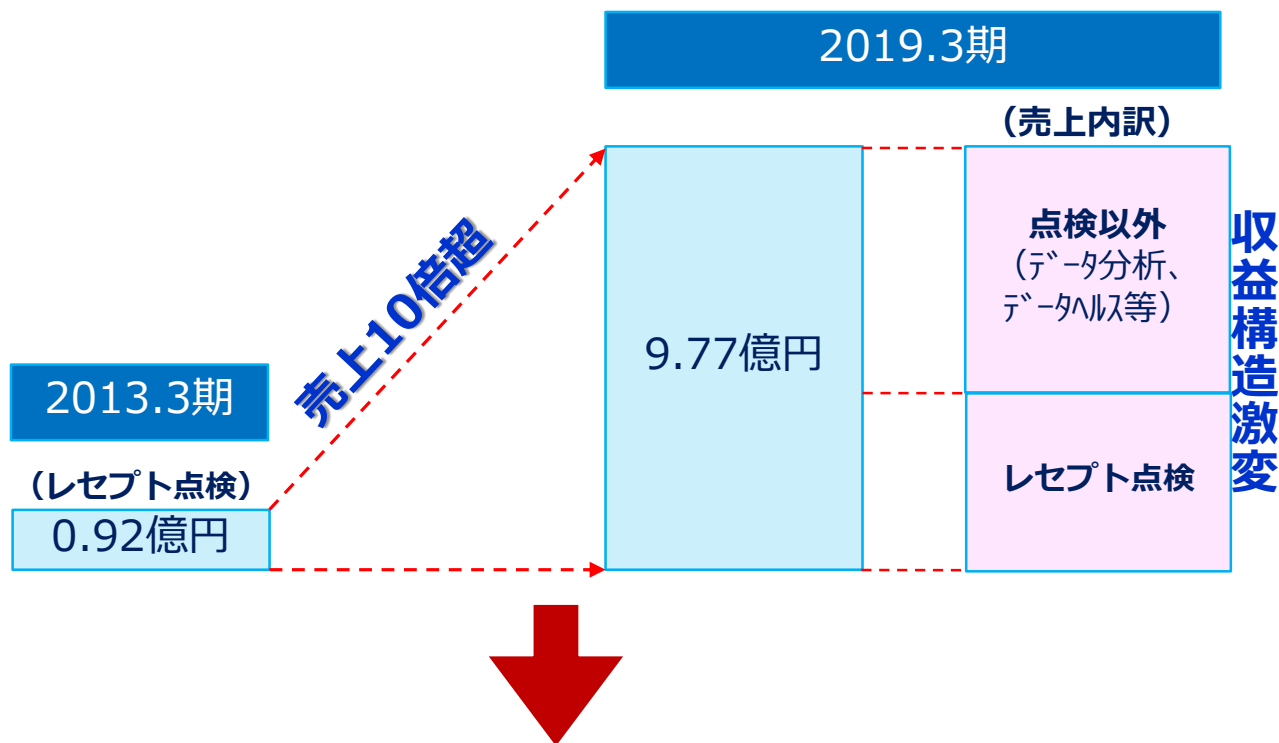
大学向け分析機能を充実、IR部門の作業効率向上

◆ グローバル機能

2カ国語対応を標準搭載

★現状：

- ◆月間レセプト処理数約800～1,000万枚/総契約先数200超
- ◆レセプト点検→ビッグデータとICTの融合による医療情報ソリューションに進化



★戦略：国策の追い風と規模・技術優位性を活かしさらに領域拡大

- ◆利活用ビジネスの新領域拡大：医療費適正化、データヘルス、API連携強化
- ◆産・学との連携拡大：アカデミア・他企業との協業による先鋭的分析・利活用サービス
- ◆AI、ディープラーニング関連テクノロジーの組み込み

BankNeo

FAST SOLUTION FOR BANKING

CRM
SFA

融資
支援

経営
管理

相続

預り
管理

ポータル モバイル連携機能
地図連携機能 顧客サイト
フロントコンプライアンス

貸出審査
格付審査
債権管理

保安全管理
自己査定
回覧ワークフロー

経営分析 手数料・事務量
原価計算 日計
個社別取引採算管理

手続き支援 案件進捗管理
相続税シミュレーション
顧客情報の一元管理

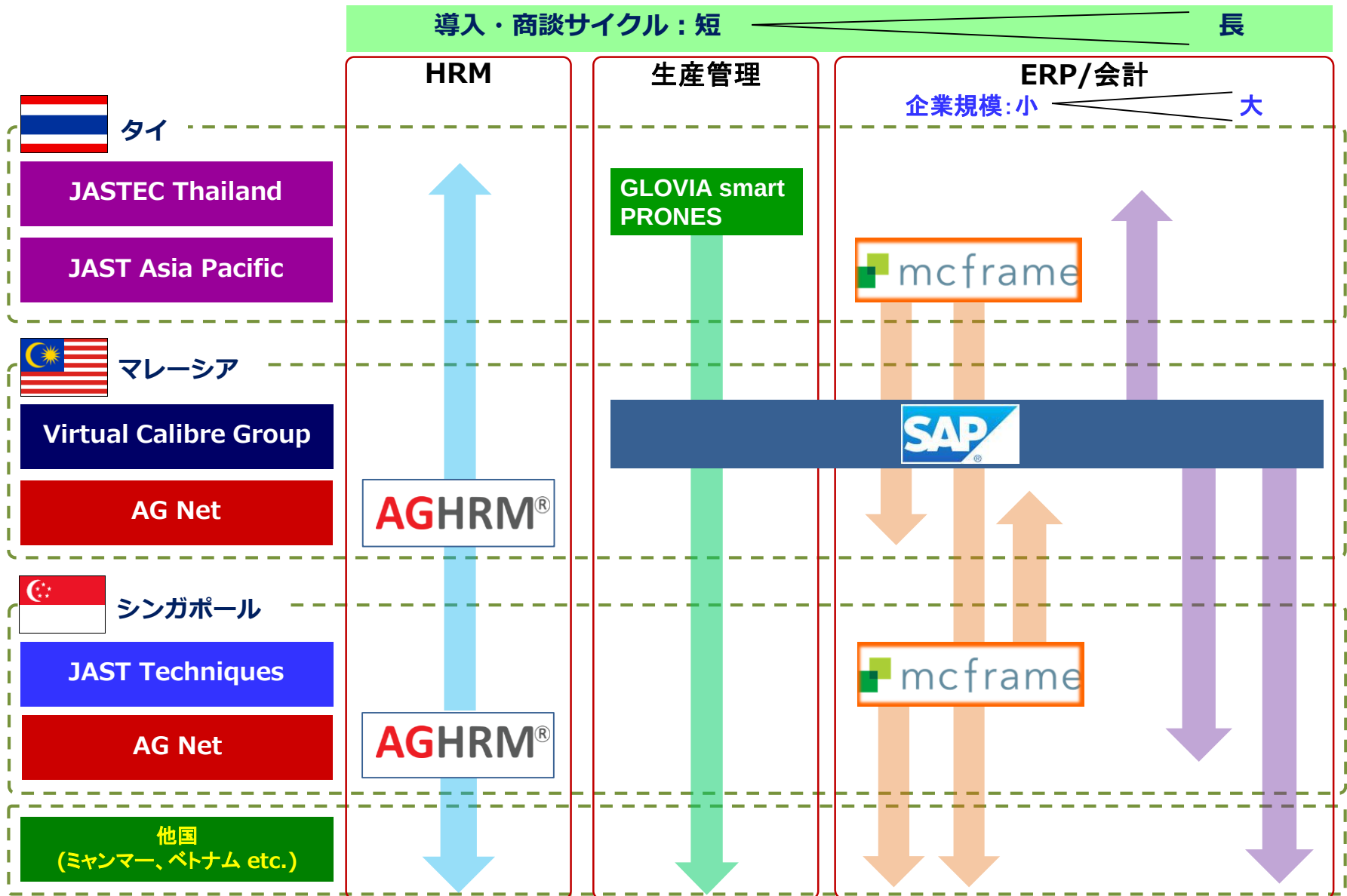
預り/返却業務
預り物のチェック
期日管理



導入実績：2019年12月5日現在

5. 今後の計画・方針

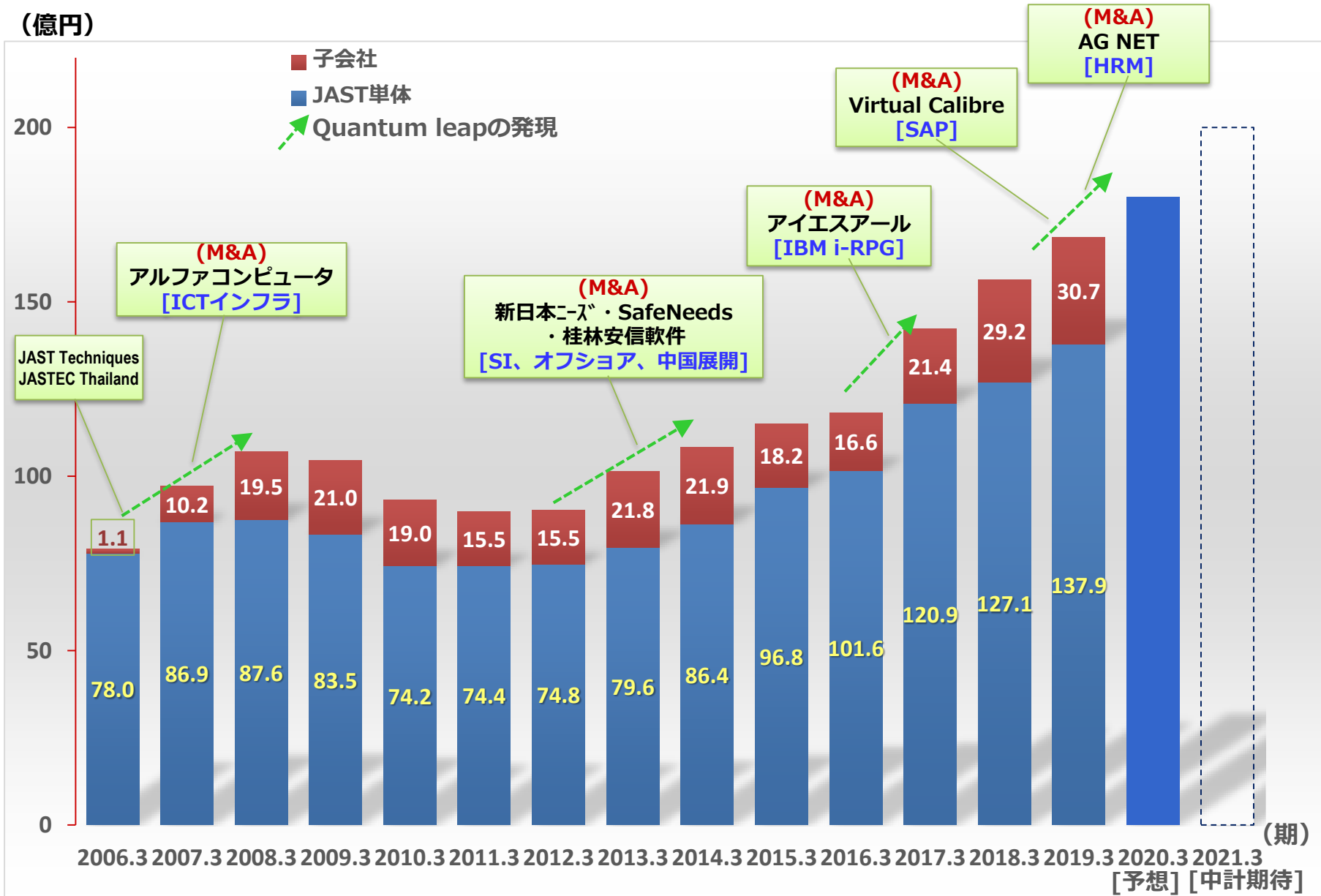
5 - 1 1. ASEAN商材展開



記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

5. 今後の計画・方針

5-12. グループ成長戦略、グローバル化（売上推移）



5. 今後の計画・方針

5-13. 新領域への適応とアライアンスターゲット

	ビッグデータ、 アナリティクス	IoT、 コンテンツ	フィンテック	AI、深層・機械 学習、生体認証	クラウド
ソフトウェア 事業	✓ データサイエンス案件の拡大	✓ 通常SI開発での拡大 ✓ 4D Replay	オフィス・キャッシュレス決済	✓ 通常SI開発での適用・拡大 データサイエンス関連商材	✓ 通常SI開発での拡大 ✓ SAP、AGHRM
GAKUEN 事業	✓ 大学経営意思決定支援（BI） ✓ IR	✓ e-ラーニングシステム「EduTrack」 ✓ UNIPAアプリ	✓ 学内電子マネー UNIPA Pay 決裁機能の拡大	パッケージ及び周辺ソリューションへの実装	✓ クラウドサービス
医療ビッグ データ事業	✓ 月間レプト処理数拡大 ✓ データ利活用サービス拡大	モバイル型サービス		✓ アカデミア連携 ✓ AI健康経営支援 レプト処理のAI化	✓ クラウド版レセプト点検
BankNeo (ソフトウェア事業)	✓ 「BankNeo for CRM/SFA」	✓ モバイルデバイス対応		コンポーネントへのAI機能の実装	✓ BankNeoクラウド
システム販売 事業	✓ 各種分析サービス	✓ モバイルデバイス対応			✓ データセンタークラウド ✓ セキュリティクラウド

凡例： ✓ 現業領域と施策

具体的構想領域

JASTブランド

不易流行

本質的なものを守る一方で、新しい変化を取り入れ、より多くの価値を創造していくこと

日本システム技術株式会社

Japan System Techniques Co., Ltd.

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。尚、特に注記のない限り、業績に係る数値等は全て連結ベースで記載しております。